

平成19年3月30日

東京電力株式会社のデータ改ざんに関する
再発防止対策等報告について

柏崎市長 会 田 洋

本日、東京電力株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所における一連のデータ改ざんに関する調査・原因究明の結果および再発防止対策についての報告があった。

今回の報告は、昨年12月1日に新潟県知事、刈羽村長と三者連名で東京電力株式会社に対して行った要請に応えたものである。

今回の調査により、過去のこととは言え、法定検査に係るデータ改ざんや法定報告対象である原子炉自動停止の隠蔽、制御棒引き抜け事象などの多くの重大な問題が明らかになり、誠に遺憾である。

報告内容については、今後、県の技術委員会における専門家による検討を踏まえ、県・市・村三者による意見交換を実施し、信頼回復に向けて実効性のある、企業体質の改善に向けた取り組みや再発防止策となっているかどうか、十分に吟味したい。そして、地域住民の皆さまの安全・安心を第一に考え、必要な対応と共に、再発防止策の今後の取り組みのフォローを行っていきたい。

なお、引き続き、発電所の業務運営に係る報告について調査が続けられることから、この際、過去の不正を清算すると共に、トラブル情報の共有による再発防止への反映や、不正を起こさない仕組みの構築と企業体質の改善により、万全の発電所安全運転管理体制を築き上げることを求めていく。